

笠井円来ちゃん 神経芽細胞腫との358日の闘病記

～ 小児がんと闘うすべての人のために ～

大きく育て！^{つぶら}円来の木

たくさんの人と人との出会いの中から、この本が生まれました

笠井円来（つぶら）ちゃんは、昨年7月、6歳の短い生涯を終えました。

円来ちゃんは神経芽細胞腫（小児がん）の宣告を受け、7回の化学療法（抗がん剤治療）と激しい副作用を乗り越えました。大阪へ転院後、骨髄移植を受け、腫瘍マーカーの改善と骨髄の生着の兆しを見せるまでに至りましたが、その小さな身体は、最期には移植後の合併症に勝つことが出来ませんでした。

これは、円来ちゃんとパパ、ママの358日間の闘病と、円来ちゃんの死後、パパ、ママが小児がんと闘う子どもと家族を支援するための活動を始めていくまでの記録です。たくさんの、真実の心の言葉です。

目次

主な登場人物	
突然のがん宣告	
神経芽細胞腫とは / 小児がんとは	
化学療法が始まる	
化学療法とは	
何が一番大切なのか？	
野手先生との思い出	
ママ、誕生日おめでとう	
みんな友達	
こうじ、さびしいのか？	
たくさんの愛に包まれて	
外泊の思い出（1） / 円来ちゃん 名ポーズ集（1）	
人のために生きるって、すごいこと	
円来ちゃんとママの日記から	
小児がんをめぐる社会の現状 / 小児慢性特定疾患治療研究事業	
どうしてそんなに強いのか？	
外泊の思い出（2） / 円来ちゃん 名ポーズ集（2）	
小児がんの早期発見・早期治療をめざして / 晩期障害（Late Effect）について	
こんな姿を毎日見ているんだね	
外泊の思い出（3） / 思い出のプリクラ	
小児がん治療の最前線と小児がん専門医制度について	
見えてきた新しい道、新しい光	
家族のケアを考える	
患児のケア / 骨髄移植とは	
パパ、ママの宝物	
がん撲滅に向けて	
円来パワーをもらって	
大きく育て“円来の木”	
思い出文集	
財団法人がんの子供を守る会 / 財団法人がんの子供を守る会 富山支部設立準備会	
特定非営利活動法人 日本クリニクラウン協会	
お世話になった皆様	

私達は、円来のことや闘病生活中の私達の思いを残しておきたい、また家族を始めとして、病院の先生方、看護師の皆さんへの感謝を表したい、という思いで本書の発刊を決意しました。そして、本書が今も病氣と闘い続け、私達と同じように孤独な日々を送る患児とその家族の皆さん、小児がんの晩期障害に悩む皆さん、子どもを亡くされた皆さんの心の支えとして、少しでもお役に立つことがあればと願っております。

また、本書でも訴えておりますが、神経芽細胞腫を始めとする小児がんへの認識が、社会全体で深まると共に、専門医療体制の拡充、また病氣と闘う人々を厚く支援する社会保障制度の確立などが、一日でも早く実現することを祈念しております。

笠井功治・千晴
（発刊の言葉より）

笠井円来ちゃん 神経芽細胞腫との358日の闘病記
～ 小児がんと闘うすべての人のために ～

大きく育て！^{つぶら}円来の木

笠井功治・千晴



「大きく育て！円来の木」

著者 笠井功治・千晴（富山市在住）

A4判・フルカラー80ページ 価格 1,000 円（税込み）

この本の売上金の一部は、「財団法人がんの子供を守る会」及び「NPO法人日本クリニクラウン協会」に寄付されます。そこで本書は書店での販売をせず、代金引換の書籍小包（郵便局）にて、ご購入を希望される方に直接発送することになっております。ご注文の際は、下記メールアドレスに「ご注文の冊数、ご住所、電話番号、お名前」をお知らせ下さい。

E-mail: sassan@pc.ctt.ne.jp （笠井功治）